

2022年3月期決算説明資料



【 目 次 】

I	2022年3月期決算ダイジェスト	1
II	2022年3月期決算の概況	
	1. 損益状況	8
	2. 業務純益	10
	3. 利鞘	10
	(1) 全店分	10
	(2) 国内業務部門	10
	4. 預金等、貸出金残高	11
	5. 預かり資産残高	11
	6. ROE	11
	7. 有価証券関係損益	12
	8. 有価証券の評価損益	12
	(1) 有価証券の評価基準	12
	(2) 評価損益	12
	9. 自己資本比率	13
III	貸出金等の状況	
	1. 金融再生法開示債権及びリスク管理債権	14
	2. 貸倒引当金等の状況	14
	3. 自己査定結果と金融再生法開示債権及びリスク管理債権の状況	15
	4. 業種別貸出状況等	15
	(1) 業種別貸出金	15
	(2) 業種別リスク管理債権	16
	(3) 中小企業等貸出金	16
IV	2023年3月期業績予想	
	1. 第四北越フィナンシャルグループ 連結	16
	2. 第四北越銀行 単体	16

- (注) 1. 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。
 2. 利回り、比率は小数点以下第3位を切り捨てて表示しております。
 3. 「II 2022年3月期決算の概況」以下の2021年3月期比、2021年3月末比欄等の計数は、表上の数値による計算結果を表示しております。

【計数の表示方法について】

2021年1月1日付で、当社の完全子会社である第四銀行及び北越銀行は、第四銀行を存続会社、北越銀行を消滅会社として合併を行い、商号を第四北越銀行に変更しております。
 本決算説明資料における第四北越銀行の計数につきましては、各項目の適正な期間比較を行う観点から、下記のルールに則り算出した計数を記載しております。

- 2022年3月期、2022年3月末、2021年3月末の計数
 第四北越銀行の計数
- 2021年3月期の計数
 2020年4月～12月の第四銀行及び北越銀行の計数と、2021年1月以降の第四北越銀行の計数を単純合算

I 2022年3月期決算ダイジェスト

1. 損益の状況

(1) 第四北越フィナンシャルグループ 連結

- 銀行単体およびグループ会社収益がともに増益となり、FG連結の親会社株主に帰属する当期純利益は前年比43億円増益の151億円となりました。(1月公表修正業績予想比+11億円、+8%)
- 連結粗利益は前年比64億円増益の913億円となりました。
資金利益は1億円減益となったものの、役務取引等利益は11億円、その他業務利益は54億円それぞれ増益となりました。
- 経常利益は前年比60億円増益の235億円となりました。(1月公表修正業績予想比+19億円、+9%)
貸倒償却引当費用が25億円増加し、株式等関係損益が61億円減少したものの、営業経費が68億円減少しました。

(単位:億円)

	2022年3月期		2021年3月期
		2021年3月期比	
連結粗利益	913	64	849
資金利益	603	△ 1	605
役務取引等利益	210	11	199
その他業務利益	98	54	44
営業経費 (△)	650	△ 68	719
貸倒償却引当費用 (△)	76	25	50
貸出金償却 (△)	17	△ 1	19
個別貸倒引当金繰入額 (△)	33	15	17
一般貸倒引当金繰入額 (△)	2	△ 7	10
延滞債権等売却損 (△)	6	6	0
その他 (△)	15	12	3
貸倒引当金戻入益	—	—	—
償却債権取立益	5	△ 4	9
株式等関係損益	36	△ 61	97
その他	6	18	△ 11
経常利益	235	60	175
特別損益	△ 2	△ 4	2
税金等調整前当期純利益	233	56	177
法人税、住民税及び事業税 (△)	82	23	59
法人税等調整額 (△)	△ 4	△ 7	3
当期純利益	155	40	114
非支配株主に帰属する当期純利益 (△)	3	△ 2	6
親会社株主に帰属する当期純利益	151	43	107

<参考> 2022年3月期業績予想(2022年1月28日公表)

(単位:億円)

経常利益	216
親会社株主に帰属する当期純利益	140

【親会社株主に帰属する当期純利益の内訳】

(単位:億円)

	2022年3月期		2021年3月期
		2021年3月期比	
銀行単体	121	19	101
グループ会社部門※1	41	12	29
連結調整等※2	△ 11	11	△ 22
FG連結	151	43	107

※1 持株会社・銀行を除くグループ会社の親会社株主に帰属する当期純利益の合計

※2 有価証券連単簿価差に伴う調整額など

(2) 第四北越銀行 単体

- コア業務粗利益は、前年比24億円増益の836億円となりました。
 ・資金利益が6億円、役務取引等利益が1億円それぞれ減益となったものの、その他業務利益(除く国債等債券損益)が32億円増益となったことによるものです。
- コア業務純益は、コア業務粗利益の増益に加え、経費が59億円減少したことから、前年比83億円増益の236億円となりました。
- 経常利益は、株式等関係損益が71億円減少し、ネット信用コストが31億円増加した一方、コア業務純益の増益に加え、雑損に計上していた経営統合関連費用が減少したことなどから、前年比34億円増益の182億円となりました。
- 特別損益が4億円減少し、法人税等税金関係費用が10億円増加したことから、当期純利益は前年比19億円増益の121億円となりました。

(単位:億円)

	2022年3月期		2021年3月期
		2021年3月期比	
業務粗利益	807	42	764
(うちコア業務粗利益)	(836)	(24)	(812)
資金利益	616	△ 6	623
(うち貸出金利息)	(454)	(△ 4)	(458)
(うち有価証券利息配当金)	(173)	(△ 15)	(189)
(うち投資信託解約損益)	(1)	(1)	(—)
(うち資金調達費用) (△)	(22)	(△ 8)	(30)
役務取引等利益	143	△ 1	145
その他業務利益	47	51	△ 3
(除く国債等債券損益)	(76)	(32)	(44)
(うち国債等債券損益)	(△ 28)	(18)	(△ 47)
経費(除く臨時処理分) (△)	600	△ 59	659
人件費 (△)	314	△ 6	321
物件費 (△)	252	△ 40	292
税金 (△)	32	△ 12	45
実質業務純益	207	102	105
(コア業務純益)	(236)	(83)	(152)
(コア業務純益(除く投資信託解約損益))	(234)	(82)	(152)
一般貸倒引当金繰入額 (△) ①	2	△ 8	11
業務純益	204	110	93
臨時損益	△ 21	△ 76	54
うち不良債権処理額 (△) ②	71	34	36
うち貸倒引当金戻入益③	—	—	—
うち偶発損失引当金戻入益④	—	△ 0	0
うち償却債権取立益⑤	4	△ 4	9
うち株式等関係損益	37	△ 71	108
経常利益	182	34	147
特別損益	△ 2	△ 4	2
うち減損損失 (△)	0	△ 4	5
うち退職給付制度改定益	—	△ 10	10
法人税等税金関係費用 (△)	59	10	48
当期純利益	121	19	101
ネット信用コスト (△) ①+②-③-④-⑤	69	31	38

①コア業務粗利益

○コア業務粗利益は、前年比24億円増益の836億円となりました。

- ・資金利益は、有価証券利息配当金が超低金利環境の長期化による円建債券の利回り低下などから減少したことを主因に前年比6億円減益の616億円となりました。
- ・役務取引等利益は、前年比1億円減益の143億円、その他業務利益(除く国債等債券損益)は、前年比32億円増益の76億円となりました。

預かり資産販売等にかかる資産運用アドバイス収益は、証券仲介手数料が銀行と証券子会社との間で仲介した際の収益割合の見直しを実施した影響等により減少しましたが、保険窓口販売や投資信託関連手数料などは順調に増加しており、グループ全体では前年を上回る実績となっております。

また、法人向け金融ソリューション収益は、お客様の為替リスクや金利リスクのヘッジを目的としたデリバティブ取引や事業承継、M&Aなどにより増加しました。

(単位:億円)

	2022年3月期		2021年3月期
		2021年3月期比	
業務粗利益	807	42	764
(うちコア業務粗利益)	(836)	(24)	(812)
資金利益	616	△ 6	623
(うち貸出金利息)	(454)	(△ 4)	(458)
(うち有価証券利息配当金)	(173)	(△ 15)	(189)
(うち投資信託解約損益)	(1)	(1)	(—)
(うち資金調達費用) (△)	(22)	(△ 8)	(30)
役務取引等利益	143	△ 1	145
その他業務利益	47	51	△ 3
(除く国債等債券損益)	(76)	(32)	(44)
(うち国債等債券損益)	(△ 28)	(18)	(△ 47)

※コア業務粗利益＝業務粗利益－国債等債券損益

②経費

○経費は、前年比59億円減少の600億円となりました。

- ・人件費は、自然減による人員減少に加え、合併・事務システム統合完了等に伴う時間外手当が減少したことなどから6億円減少しました。
- ・物件費は、銀行合併に伴うコストシナジーとして、システム関連費用が減少したことなどから40億円減少しました。

(単位:億円)

	2022年3月期		2021年3月期
		2021年3月期比	
経費(除く臨時処理分) (△)	600	△ 59	659
人件費 (△)	314	△ 6	321
物件費 (△)	252	△ 40	292
税金 (△)	32	△ 12	45

③コア業務純益

○コア業務純益は、前年比83億円増益の236億円となりました。

- ・コア業務粗利益が24億円増益となり、経費が59億円減少したことによるものです。

※コア業務純益＝コア業務粗利益－経費(除く臨時処理分)

④経常利益、当期純利益

- 経常利益は、前年比34億円増益の182億円となりました。
- ・ネット信用コストは、業績低迷の長期化を要因とした企業のランクダウンが発生したことなどから前年比31億円増加し69億円となりました。
 - ・株式等関係損益は株式等売却益の減少などから前年比71億円減少し37億円となりました。
- 当期純利益は、経常利益が前年比34億円の増益となりましたが、特別損益が4億円減少し、法人税等税金関係費用が10億円増加したことから前年比19億円増益の121億円となりました。

(単位:億円)

	2022年3月期		2021年3月期
		2021年3月期比	
経常利益	182	34	147
特別損益	△ 2	△ 4	2
うち減損損失 (△)	0	△ 4	5
うち退職給付制度改定益	—	△ 10	10
法人税等税金関係費用 (△)	59	10	48
当期純利益	121	19	101

<信用コストの内訳>

(単位:億円)

	2022年3月期		2021年3月期
		2021年3月期比	
一般貸倒引当金繰入額 (△) ①	2	△ 8	11
不良債権処理額 (△) ②	71	34	36
貸倒引当金戻入益③	—	—	—
偶発損失引当金戻入益④	—	△ 0	0
償却債権取立益⑤	4	△ 4	9
ネット信用コスト (△) ①+②-③-④-⑤	69	31	38

<株式等関係損益 >

(単位:億円)

	2022年3月期		2021年3月期
		2021年3月期比	
株式等関係損益(3勘定戻)	37	△ 71	108
売却益	85	△ 82	168
売却損 (△)	43	△ 9	53
償却 (△)	4	△ 1	5

2. 預金・預かり資産の状況（第四北越銀行 単体）

（1）預金

○譲渡性預金を含めた預金等残高は、前年度末比2,550億円増加し、8兆4,785億円となりました。
 ・新型コロナウイルス禍での、法人のお客様による手元流動性の積み増し、個人消費の低調などを
 主因に法人・個人ともに増加しました。

(単位:億円)

	2022年3月末		2021年3月末
		2021年3月末比	
預金等残高	84,785	2,550	82,234
法人	22,644	131	22,512
個人	55,286	1,676	53,609
その他	6,854	742	6,112

※預金等残高＝預金＋譲渡性預金

（2）預かり資産

○預かり資産残高と預金等残高合計で前年度末比2,931億円増加し、9兆3,322億円となりました。
 公共債は79億円減少しましたが、投資信託は46億円、保険は414億円それぞれ増加しました。

(単位:億円)

	2022年3月末		2021年3月末
		2021年3月末比	
預かり資産残高	8,536	381	8,155
投資信託	1,835	46	1,788
公共債	783	△79	863
保険	5,917	414	5,503
預金等残高	84,785	2,550	82,234
合計残高	93,322	2,931	90,390
(参考) 第四北越証券	3,898	591	3,307

3. 貸出金の状況（第四北越銀行 単体）

○貸出金の期末残高は、前年度末比1,709億円増加し、5兆1,305億円となりました。
 ・事業性貸出は、県内では前年の積極的な新型コロナウイルス対応への支援の反動などにより減少した一方、県外では大企業向け貸出が増加したことなどから、事業性貸出全体では前年度末比増加しました。
 ・消費性貸出は、商品・サービスの拡充や非対面チャネルの活用など、お客様の利便性向上に積極的に取り組んだ結果、住宅ローン・無担保ローンがともに前年度末比増加しました。

(単位:億円)

	2022年3月末		2021年3月末
		2021年3月末比	
貸出金残高	51,305	1,709	49,596
県内事業性貸出残高	17,260	△501	17,761
うち中小企業向け貸出残高	14,495	△479	14,974
県外事業性貸出残高	10,710	1,179	9,530
うち中小企業向け貸出残高	4,683	496	4,187
消費性貸出残高	13,850	369	13,481
公金貸出残高	9,484	661	8,822

【預金等と預かり資産】



【貸出金】



4. 不良債権の状況（第四北越銀行 単体）

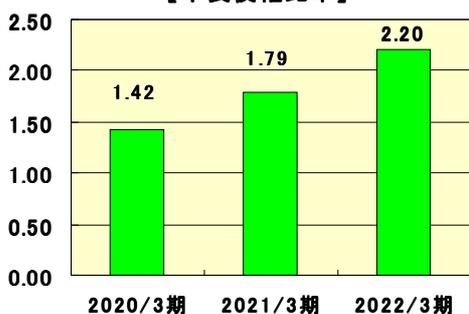
○不良債権額は、業績低迷の長期化を要因とした企業のランクダウンが発生したことなどから、前年度末比248億円増加し、1,165億円となり、不良債権比率も0.41%上昇の2.20%となりました。新型コロナウイルスの影響長期化やゼロゼロ融資終了後の資金繰り状況、加えて地政学的リスクの顕在化、資源価格等の高騰などによる影響を注視し、お取引先への経営改善・事業再生のご支援に引き続き注力してまいります。

【金融再生法開示債権及びリスク管理債権】

(単位:億円)

	2022年3月末		2021年3月末
		2021年3月末比	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	54	△ 9	64
危険債権	1,071	260	810
要管理債権	39	△ 2	41
三月以上延滞債権額	13	6	6
貸出条件緩和債権額	26	△ 9	35
小計 (A)	1,165	248	917
正常債権	51,670	1,366	50,303
債権額合計 (B)	52,835	1,615	51,220
不良債権比率 (A)/(B)	2.20%	0.41%	1.79%

【不良債権比率】



【不良債権額】



5. 自己資本比率（国内基準）

○第四北越フィナンシャルグループ連結の自己資本比率は、前年度末比0.16%上昇し、10.51%となりました。早期是正措置の国内基準である4%、国際基準である8%を十分上回る水準を確保しております。

【第四北越フィナンシャルグループ 連結】



■ 自己資本比率

【第四北越銀行 連結】



■ 自己資本比率

【第四北越銀行 単体】



■ 自己資本比率

6. 2023年3月期業績予想

○第四北越フィナンシャルグループ 連結

超低金利環境の長期化による有価証券利息配当金の減少や、足元の社会経済動向などを踏まえ、ネット信用コストを保守的に織り込む一方、店舗統合や営業店業務改革などを通じた経営資源の再配分をさらに加速させ、グループ総合力を発揮したコンサルティング営業の実践によって、トップラインを増強することにより、親会社株主に帰属する当期純利益は、前年比13億円増益の165億円を見込んでおります。

○第四北越銀行 単体

当期純利益は、120億円を見込んでおります。

(1) 第四北越フィナンシャルグループ 連結

(単位:億円)

	2022年9月期		2021年9月期	2023年3月期		2022年3月期
	予想	2021年9月期比	実績	予想	2022年3月期比	実績
経常利益	105	△ 9	114	249	13	235
親会社株主に帰属する 当期(中間)純利益	77	0	76	165	13	151

(2) 第四北越銀行 単体

(単位:億円)

	2022年9月期		2021年9月期	2023年3月期		2022年3月期
	予想	2021年9月期比	実績	予想	2022年3月期比	実績
コア業務純益	99	△ 14	113	222	△ 14	236
経常利益	75	△ 9	84	192	9	182
当期(中間)純利益	53	△ 7	60	120	△ 1	121

II 2022年3月期決算の概況

1. 損益状況

【第四北越フィナンシャルグループ 連結】

(単位:百万円)

		2022年3月期		2021年3月期
			2021年3月期比	
連結粗利益	1	91,349	6,431	84,918
資金利益	2	60,396	△120	60,516
役務取引等利益	3	21,065	1,151	19,914
その他業務利益	4	9,887	5,401	4,486
営業経費 (△)	5	65,070	△6,890	71,960
貸倒償却引当費用 (△)	6	7,600	2,556	5,044
貸出金償却 (△)	7	1,746	△160	1,906
個別貸倒引当金繰入額 (△)	8	3,311	1,541	1,770
一般貸倒引当金繰入額 (△)	9	298	△755	1,053
延滞債権等売却損 (△)	10	665	661	4
その他 (△)	11	1,578	1,269	309
貸倒引当金戻入益	12	—	—	—
償却債権取立益	13	501	△495	996
株式等関係損益	14	3,667	△6,101	9,768
その他	15	698	1,875	△1,177
経常利益	16	23,545	6,045	17,500
特別損益	17	△203	△423	220
税金等調整前当期純利益	18	23,342	5,621	17,721
法人税、住民税及び事業税 (△)	19	8,281	2,330	5,951
法人税等調整額 (△)	20	△469	△796	327
当期純利益	21	15,530	4,089	11,441
非支配株主に帰属する当期純利益 (△)	22	385	△261	646
親会社株主に帰属する当期純利益	23	15,144	4,349	10,795

(注)連結粗利益＝(資金運用収益－(資金調達費用－金銭の信託運用見合費用))

＋(役務取引等収益－役務取引等費用)＋(その他業務収益－その他業務費用)

(参考)

(単位:百万円)

連結業務純益	24	25,817	12,552	13,265
--------	----	--------	--------	--------

(注)連結業務純益＝第四北越銀行業務純益＋その他の会社の業務純益＋関連会社業務純益×持分－内部取引

【第四北越銀行 単体】

(単位:百万円)

		2022年3月期		2021年3月期
			2021年3月期比	
業務粗利益	1	80,746	4,273	76,473
(うちコア業務粗利益)	2	(83,640)	(2,411)	(81,229)
資金利益	3	61,612	△699	62,311
(うち貸出金利息)	4	(45,406)	(△451)	(45,857)
(うち有価証券利息配当金)	5	(17,398)	(△1,526)	(18,924)
(うち投資信託解約損益)	6	(139)	(139)	(—)
(うち資金調達費用) (△)	7	(2,252)	(△827)	(3,079)
役務取引等利益	8	14,341	△175	14,516
その他業務利益	9	4,792	5,146	△354
(除く国債等債券損益)	10	(7,687)	(3,285)	(4,402)
(うち国債等債券損益)	11	(△2,894)	(1,862)	(△4,756)
経費(除く臨時処理分) (△)	12	60,026	△5,930	65,956
人件費 (△)	13	31,469	△646	32,115
物件費 (△)	14	25,261	△4,006	29,267
税金 (△)	15	3,294	△1,278	4,572
実質業務純益	16	20,719	10,203	10,516
(コア業務純益)	17	(23,613)	(8,340)	(15,273)
(コア業務純益(除く投資信託解約損益))	18	(23,474)	(8,201)	(15,273)
一般貸倒引当金繰入額 (△) ①	19	297	△887	1,184
業務純益	20	20,422	11,091	9,331
臨時損益	21	△2,154	△7,613	5,459
うち不良債権処理額 (△) ②	22	7,153	3,495	3,658
(貸倒償却引当費用①+②) (△)	23	(7,450)	(2,607)	(4,843)
うち貸倒引当金戻入益	24	—	—	—
うち偶発損失引当金戻入益	25	—	△50	50
うち償却債権取立益	26	492	△496	988
うち株式等関係損益	27	3,758	△7,132	10,890
経常利益	28	18,267	3,476	14,791
特別損益	29	△223	△462	239
うち固定資産処分損益	30	△117	167	△284
うち減損損失 (△)	31	62	△452	514
うち退職給付制度改定益	32	—	△1,038	1,038
税引前当期純利益	33	18,044	3,013	15,031
法人税、住民税及び事業税 (△)	34	6,219	1,983	4,236
法人税等調整額 (△)	35	△317	△960	643
当期純利益	36	12,143	1,993	10,150
(参考)				
ネット信用コスト (△) 19+22-24-25-26	37	6,958	3,154	3,804

※コア業務粗利益＝業務粗利益－国債等債券損益

※実質業務純益＝業務粗利益－経費(除く臨時処理分)

※コア業務純益＝コア業務粗利益－経費(除く臨時処理分)

2. 業務純益

【第四北越銀行 単体】

(単位:百万円)

	2022年3月期		2021年3月期
		2021年3月期比	
業務純益 (一般貸倒引当金繰入前)	20,719	10,203	10,516
職員一人当たり(千円)	6,342	3,268	3,074
コア業務純益	23,613	8,340	15,273
職員一人当たり(千円)	7,228	2,764	4,464
業務純益	20,422	11,091	9,331
職員一人当たり(千円)	6,251	3,524	2,727

3. 利鞘

(1) 全店分

【第四北越銀行 単体】

(単位:%)

	2022年3月期		2021年3月期
		2021年3月期比	
資金運用利回 ①	0.73	△ 0.06	0.79
貸出金利回 ②	0.90	△ 0.02	0.92
有価証券利回 ③	0.70	△ 0.08	0.78
資金調達利回 ④	0.02	△ 0.01	0.03
預金等利回 ⑤	0.00	0.00	0.00
外部負債利回 ⑥	0.02	△ 0.03	0.05
預金等原価 ⑦	0.73	△ 0.10	0.83
経費率 ⑧	0.72	△ 0.10	0.82
資金調達原価 ⑨	0.64	△ 0.13	0.77
預貸金レート差 ②-⑤	0.90	△ 0.02	0.92
運用・調達レート差 ①-④	0.71	△ 0.05	0.76
預貸金利鞘 ②-⑦	0.17	0.08	0.09
総資金利鞘 ①-⑨	0.09	0.07	0.02

(2) 国内業務部門

【第四北越銀行 単体】

(単位:%)

	2022年3月期		2021年3月期
		2021年3月期比	
資金運用利回 ①	0.71	△ 0.04	0.75
貸出金利回 ②	0.90	△ 0.01	0.91
有価証券利回 ③	0.62	△ 0.07	0.69
資金調達利回 ④	0.00	△ 0.01	0.01
預金等利回 ⑤	0.00	0.00	0.00
外部負債利回 ⑥	0.00	0.00	0.00
預金等原価 ⑦	0.72	△ 0.10	0.82
経費率 ⑧	0.71	△ 0.10	0.81
資金調達原価 ⑨	0.64	△ 0.12	0.76
預貸金レート差 ②-⑤	0.90	△ 0.01	0.91
運用・調達レート差 ①-④	0.71	△ 0.03	0.74
預貸金利鞘 ②-⑦	0.18	0.09	0.09
総資金利鞘 ①-⑨	0.07	0.08	△ 0.01

4. 預金等、貸出金残高

【第四北越銀行 単体】

(単位:百万円)

	2022年3月末	2021年3月末比		2021年3月末
		増減額	増減率	
預金等残高(未残)	8,478,572	255,074	3.10%	8,223,498
新潟県内	8,297,632	245,527	3.04%	8,052,105
新潟県外	180,939	9,546	5.56%	171,393
預金等残高(平残)	8,274,922	306,926	3.85%	7,967,996
新潟県内	8,100,478	304,597	3.90%	7,795,881
新潟県外	174,444	2,329	1.35%	172,115
貸出金残高(未残)	5,130,559	170,938	3.44%	4,959,621
新潟県内	3,754,454	△57,597	△ 1.51%	3,812,051
新潟県外	1,376,104	228,534	19.91%	1,147,570
貸出金残高(平残)	5,032,959	56,478	1.13%	4,976,481
新潟県内	3,793,921	△22,746	△ 0.59%	3,816,667
新潟県外	1,239,037	79,224	6.83%	1,159,813

※預金等残高＝預金＋譲渡性預金

5. 預かり資産残高

【第四北越銀行 単体】

(単位:百万円)

	2022年3月末	2021年3月末比		2021年3月末
		増減額	増減率	
預かり資産残高	853,692	38,102		815,590
投資信託	183,553	4,665		178,888
公共債	78,397	△ 7,996		86,393
保険	591,741	41,433		550,308
(参考)第四北越証券	389,899	59,100		330,799

6. ROE

【第四北越フィナンシャルグループ 連結】

(単位:%)

	2022年3月期	2021年3月期比		2021年3月期
		増減率	増減率	
経常利益ベース	5.45	1.20		4.25
親会社株主に帰属する当期純利益ベース	3.50	0.88		2.62

(注)「純資産の部」の期首と期末の平均残高(除く新株予約権及び非支配株主持分)により算出しております。

【第四北越銀行 単体】

(単位:%)

	2022年3月期	2021年3月期比		2021年3月期
		増減率	増減率	
経常利益ベース	4.57	0.83		3.74
当期純利益ベース	3.04	0.47		2.57

(注)「純資産の部」の期首と期末の平均残高により算出しております。

なお、2021年3月期の「純資産の部」の期首は第四銀行及び北越銀行の2020年4月1日時点の純資産を合算しております。

7. 有価証券関係損益
【第四北越銀行 単体】

(単位:百万円)

	2022年3月期		2021年3月期
		2021年3月期比	
国債等債券損益(5勘定戻)	△ 2,894	1,862	△ 4,756
売却益	2,986	△ 2,239	5,225
償還益	0	△ 27	27
売却損 (△)	2,198	1,261	937
償還損 (△)	3,372	△ 5,627	8,999
償却 (△)	310	237	73
株式等関係損益(3勘定戻)	3,758	△ 7,132	10,890
売却益	8,525	△ 8,288	16,813
売却損 (△)	4,344	△ 985	5,329
償却 (△)	422	△ 171	593

8. 有価証券の評価損益

(1) 有価証券の評価基準

売買目的有価証券	時価法(評価差額を損益処理)
満期保有目的有価証券	償却原価法
その他有価証券	時価法(評価差額を全部純資産直入法)
子会社株式及び関連会社株式	原価法

(2) 評価損益

【第四北越フィナンシャルグループ 連結】

(単位:百万円)

	2022年3月末					2021年3月末				
	貸借対照表 計上額	評価差額	2021年3月末比			貸借対照表 計上額	評価差額	うち		
			2021年3月末比	うち益	うち損			うち益	うち損	
満期保有目的	1,608	△10	△104	0	11	27,531	94	100	5	
その他有価証券	2,490,377	11,393	△48,211	53,676	42,283	2,415,072	59,604	86,068	26,464	
株式	135,091	37,399	△12,511	41,161	3,762	142,388	49,910	53,077	3,166	
債券	1,546,807	△12,610	△14,778	2,676	15,287	1,494,738	2,168	8,760	6,591	
その他	808,478	△13,395	△20,919	9,838	23,233	777,945	7,524	24,230	16,705	
うち外国証券	408,016	△12,162	△25,809	2,638	14,801	405,297	13,647	15,155	1,508	
合計	2,491,985	11,383	△48,315	53,677	42,294	2,442,603	59,698	86,168	26,469	

【第四北越銀行 単体】

(単位:百万円)

	2022年3月末					2021年3月末				
	貸借対照表 計上額	評価差額	2021年3月末比			貸借対照表 計上額	評価差額	うち		
			2021年3月末比	うち益	うち損			うち益	うち損	
満期保有目的	1,608	△10	△104	0	11	27,531	94	100	5	
その他有価証券	2,479,419	17,479	△45,658	59,811	42,331	2,402,714	63,137	90,859	27,721	
株式	124,134	42,387	△9,342	45,171	2,783	130,030	51,729	54,247	2,518	
債券	1,546,807	△10,762	△15,780	4,478	15,240	1,494,738	5,018	11,564	6,546	
その他	808,478	△14,145	△20,534	10,161	24,307	777,945	6,389	25,047	18,657	
うち外国証券	408,016	△11,995	△25,918	2,828	14,823	405,297	13,923	15,430	1,507	
合計	2,481,027	17,469	△45,763	59,812	42,342	2,430,246	63,232	90,959	27,727	

9. 自己資本比率

【第四北越フィナンシャルグループ 連結】

(単位:百万円)

	2022年3月末		2021年3月末
		2021年3月末比	
(1)自己資本比率 (2)/(3)	10.51%	0.16%	10.35%
(2)自己資本 ①-②	404,384	16,248	388,136
コア資本に係る基礎項目 ①	424,038	15,859	408,179
コア資本に係る調整項目 ②	19,654	△ 388	20,042
(3)リスクアセット	3,846,237	98,938	3,747,299
(4)総所要自己資本額	153,849	3,958	149,891

【第四北越銀行 連結】

(単位:百万円)

	2022年3月末		2021年3月末
		2021年3月末比	
(1)自己資本比率 (2)/(3)	9.77%	△ 0.23%	10.00%
(2)自己資本 ①-②	370,841	△ 1,698	372,539
コア資本に係る基礎項目 ①	390,431	△ 2,114	392,545
コア資本に係る調整項目 ②	19,589	△ 416	20,005
(3)リスクアセット	3,792,769	68,924	3,723,845
(4)総所要自己資本額	151,710	2,757	148,953

【第四北越銀行 単体】

(単位:百万円)

	2022年3月末		2021年3月末
		2021年3月末比	
(1)自己資本比率 (2)/(3)	9.52%	△ 0.11%	9.63%
(2)自己資本 ①-②	359,088	4,502	354,586
コア資本に係る基礎項目 ①	374,057	3,201	370,856
コア資本に係る調整項目 ②	14,969	△ 1,300	16,269
(3)リスクアセット	3,770,952	90,939	3,680,013
(4)総所要自己資本額	150,838	3,638	147,200

Ⅲ 貸出金等の状況

1. 金融再生法開示債権及びリスク管理債権

「銀行法施行規則等の一部を改正する内閣府令」(2020年1月24日 内閣府令第3号)が2022年3月31日から施行されたことに伴い、銀行法の「リスク管理債権」の区分等を、金融機能の再生のための緊急措置に関する法律に基づく開示債権の区分等に合わせて表示しております。

【第四北越フィナンシャルグループ 連結】

(単位:百万円)

	2022年3月末		2021年3月末
		2021年3月末比	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	6,431	△1,089	7,520
危険債権	107,144	25,942	81,202
要管理債権	3,959	△232	4,191
三月以上延滞債権額	1,321	699	622
貸出条件緩和債権額	2,638	△930	3,568
小計 (A)	117,536	24,622	92,914
正常債権	5,149,564	142,587	5,006,977
債権額合計 (B)	5,267,100	167,208	5,099,892
不良債権比率 (A)÷(B)	2.23%	0.41%	1.82%

【第四北越銀行 単体】

(単位:百万円)

	2022年3月末		2021年3月末
		2021年3月末比	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	5,456	△974	6,430
危険債権	107,107	26,020	81,087
要管理債権	3,959	△232	4,191
三月以上延滞債権額	1,321	699	622
貸出条件緩和債権額	2,638	△930	3,568
小計 (A)	116,523	24,814	91,709
正常債権	5,167,006	136,698	5,030,308
債権額合計 (B)	5,283,529	161,511	5,122,018
不良債権比率 (A)÷(B)	2.20%	0.41%	1.79%

保全額 (C)	100,314	22,687	77,627
貸倒引当金	13,189	2,759	10,430
担保保証等	87,125	19,929	67,196
保全率 (C)÷(A)	86.08%	1.44%	84.64%

2. 貸倒引当金等の状況

【第四北越銀行 単体】

(単位:百万円)

	2022年3月末		2021年3月末
		2021年3月末比	
貸倒引当金	23,119	3,079	20,040
一般貸倒引当金	10,219	297	9,922
個別貸倒引当金	12,900	2,783	10,117

(注)特定海外債権引当金は、該当ありません。

3. 自己査定結果と金融再生法開示債権及びリスク管理債権の状況

【第四北越銀行 単体】

(単位:億円)

自己査定における債務者区分				保全額	引当金	保全率	金融再生法開示債権	リスク管理債権	分類			
									非分類	Ⅱ分類	Ⅲ分類	Ⅳ分類
破綻先				45	8	100.0%	破産更生債権及びこれらに準ずる債権 54	破産更生債権及びこれらに準ずる債権 54	18 〔10〕	35	— 〔2〕	— 〔6〕
実質破綻先												
破綻懸念先				815	120	87.3%	危険債権 1,071	危険債権 1,071	736 〔616〕	198	135 〔255〕	
うち 要管理債権 (39) 要管理先												
要 注 意 先	その他の 要 注 意 先			12	3	33.0%	小計 1,165	小計 1,165	4	43		
	要管理先											
	正常先(地公体 向けを含む)											
合計							合計 52,835	合計 52,835	49,737	2,961	135	—

(注) □内は引当前の分類金額

4. 業種別貸出状況等

(1) 業種別貸出金

【第四北越銀行 単体】

(単位:百万円)

	2022年3月末		2021年3月末
	2022年3月末	2021年3月末比	
国内店分(除く特別国際金融取引勘定分)	5,130,559	170,938	4,959,621
製造業	479,346	△ 1,561	480,907
農業、林業	7,513	△ 388	7,901
漁業	2,100	△ 19	2,119
鉱業、採石業、砂利採取業	3,760	△ 813	4,573
建設業	163,535	△ 5,163	168,698
電気・ガス・熱供給・水道業	130,414	4,119	126,295
情報通信業	13,813	△ 1,976	15,789
運輸業、郵便業	128,316	△ 9,762	138,078
卸売業、小売業	387,249	2,942	384,307
金融業、保険業	393,855	76,418	317,437
不動産業、物品賃貸業	729,424	14,000	715,424
各種サービス業	331,029	△ 13,182	344,211
地方公共団体	948,413	66,151	882,262
その他	1,411,786	40,171	1,371,615

(2) 業種別リスク管理債権
【第四北越銀行 単体】

(単位:百万円)

	2022年3月末		2021年3月末
		2021年3月末比	
国内店分(除く特別国際金融取引勘定分)	116,523	24,814	91,709
製造業	24,672	5,717	18,955
農業、林業	510	△ 66	576
漁業	1,193	1,100	93
鉱業、採石業、砂利採取業	—	—	—
建設業	13,737	2,689	11,048
電気・ガス・熱供給・水道業	8	△ 2	10
情報通信業	1,128	131	997
運輸業、郵便業	4,338	1,689	2,649
卸売業、小売業	25,041	2,188	22,853
金融業、保険業	821	700	121
不動産業、物品賃貸業	7,546	1,499	6,047
各種サービス業	29,483	9,151	20,332
地方公共団体	—	—	—
その他	8,041	18	8,023

(3) 中小企業等貸出金
【第四北越銀行 単体】

(単位:百万円)

	2022年3月末		2021年3月末
		2021年3月末比	
中小企業等貸出残高(①+②)	3,303,000	38,636	3,264,364
中小企業向け貸出残高①	1,917,918	1,689	1,916,229
うち県内中小企業向け貸出残高	1,449,520	△ 47,939	1,497,459
消費性貸出残高②	1,385,082	36,948	1,348,134
住宅資金貸出残高	1,272,960	34,840	1,238,120
その他消費性貸出残高	112,121	2,107	110,014
中小企業等貸出比率	64.37%	△ 1.44%	65.81%

IV 2023年3月期業績予想

1. 第四北越フィナンシャルグループ 連結

(単位:百万円)

	2022年9月期		2021年9月期	2023年3月期		2022年3月期
	予想	2021年9月期比	実績	予想	2022年3月期比	実績
経常利益	10,500	△ 911	11,411	24,900	1,355	23,545
親会社株主に帰属する 当期(中間)純利益	7,700	88	7,612	16,500	1,356	15,144

2. 第四北越銀行 単体

(単位:百万円)

	2022年9月期		2021年9月期	2023年3月期		2022年3月期
	予想	2021年9月期比	実績	予想	2022年3月期比	実績
コア業務純益	9,900	△ 1,494	11,394	22,200	△ 1,413	23,613
経常利益	7,500	△ 974	8,474	19,200	933	18,267
当期(中間)純利益	5,300	△ 703	6,003	12,000	△ 143	12,143